



チームオレンジ田原の活動の様子をご紹介します。各地のサロンでも、認知症の学習や認知症サポーター養成講座の受講が活発に行われています。その一部をご紹介します。



## 「チームオレンジ田原」 一歩ずつ着実に前進中！

チームオレンジは、「認知症の人と家族」を真ん中に、困りごとや やってみたいこととお聴きして、支援する側も共に学びながら、みんなで共生社会での暮らしの質を上げていく取り組みです。

昨年の4月に活動がはじまった「チームオレンジ田原」。小倉南区田原校区は、人口10,807人65歳以上の人は2,741人、高齢化率25.4%(令和4年9月現在)。早くから搜索模擬訓練(認知症の迷い人を想定して、やさしく声を掛け安全に保護する訓練)に取り組んだり、「認知症支援活動委員会」という団体が地域の中で永年見守り活動を展開するなど、認知症に関心の高いまちです。

困りごとを抱えた本人や家族との出会いはまだ僅かですが、今のうちにできる備えをしておく、校区のスローガン「老いても安心して住めるまち たはら」の実践につながります。

先日、田原校区で飲食店を運営されている方や介護施設の方が、小売業向けの認知症サポーター養成講座を受講してくださいました。それぞれの皆さんの認知症とのかかわりや、今回受講に向いてくださった思いもお聴きしました。夏祭りの協賛金のお願いに廻る役員さんたちが、「認知症バリアフリー社会実現のための手引き(小売編)」を手に、認知症サポーター養成講座受講の案内をしてくださった成果です。今回を皮切りに、多くの職域サポーター誕生に向けて、講座を継続開催していく予定だと伺っています。

下曽根駅前のサニーサイドモールは、地域の皆さんがよく利用する商業施設です。新年度から2階の「ひだまり広場」を使わせていただいて、地域主催のふれあいの場を年に複数回開催できることになりました。地域の皆さんの思いがこもった、すてきなふれあいの場の誕生が楽しみです。

新年度から、ふれあいの場を開催予定のサニーサイドモール2階の「ひだまり広場」



定休日の地域の飲食店をお借りして、小売業向けの「認知症サポーター養成講座」を実施。役員の方々の皆さんも8名参加されました。

## 『サロンで健康づくり』へ行ってきました



2月1日（木）に小倉北区内のサロンにお伺いし、「知って安心。認知症に対する備えと支えあい」についてお話しさせていただきました。

当日は6名が参加され、ほとんどの方が「認知症についてゆっくり話を聞くのは初めて」とのこと。

まずは皆さんと一緒に手遊びをしてウォーミングアップ！そして少しでも皆さんに関心を持っていただけるよう、北九州市の人口や高齢化率、認知症の人の数等をクイズ形式で出題し、もの忘れ等が気になる時は早めに医療とつながること、社会参加活動（サロン等で集うこと）が認知症や介護予防に効果的であること等をお伝えしました。

参加者からは「認知症は年を取ったら誰でもなる可能性がある」と聞いてちょっと安心した」「北九州市の65歳以上の7人に1人が認知症と知り、身近な病気なのだと思った」とおっしゃる声も。



本市発行の『認知症が心配な方へ』の冊子をお持ちしたところ、「お友達にも渡したい」と持ち帰っていただきました。

短い時間ではありましたが、認知症は「じぶんごと」として考えていただく機会になったのではないかと思います。



高齢者

## サロンで認知症サポーター養成講座を

### 行いました！

平均年齢87歳という高齢者サロンで「認知症サポーター養成講座」をさせていただきました。

この高齢者サロンは、当センターの「サロンで健康づくり」事業をご利用されており、日頃から健康やフレイル予防、認知症についてとても興味をお持ちの方々の集まりです。

以前は美容室として営業していた場所をそのままサロンとして活用しており、10名ほどのおなじみさんが揃うまでの間、家庭的な雰囲気の中で、地域でのお困りごとなどをお伺いし、「認知症サポーターにできること」についてお話をさせていただきました。

養成講座を始めると、皆さんが真剣に耳を傾け、頷いたり、笑ったり、時には隣の人テキストをめくってあげたりしながら、にぎやかな講座となりました。終了後、養成講座を通して「認知症に対する認識が変わった」「近隣の高齢者との接し方がわかった」、「自分の今後について考える良い機会になった」と、嬉しいご意見を頂くことができました。

